

# フリースクール運営に係る公的支援を求める署名 (子らのいのち輝く署名)

彦根市長 和田裕行様  
教育長 西嶋良年様

文部科学省が公表した調査によりますと、昨年度に不登校が理由で小中学校を30日以上欠席した児童生徒は約30万人にもものぼり、10年連続で過去最多を更新しました。国や県、各自治体で「不登校対策」を講じているにもかかわらず、学校を拒否する子どもたちの増加に歯止めがかからないのが現状です。

彦根市に目を向けますと、小学校で123人（在籍率2.0%、全国1.7%）、中学校で201人（在籍率6.67%、全国6.0%）と、不登校児童生徒の在籍率が全国平均を上回っています。また、学校以外の選択肢が少なく、家から出られない子どもたちもたくさんいます。

心が疲弊し、体が動かなくなるまで追いつめられた子どもたちが、本来の自分を取り戻すことは容易ではありません。真の笑顔がもどるまでには、十分な「休息」とエネルギーを蓄える「充電」が必要です。フリースクールてだのふあは、そうした子どもたちの「居場所」として、毎日たくさん子どもたちが通所しています（2024年3月末現在、在籍35名、一日の平均通所約17名）。子どもたちは、異年齢集団の中で実に生き生きと活動しています。本来の個性が豊かに開花しつつあります。

私たちは、「不登校問題は命に関わる重大な課題」（「子らのいのち輝く署名」と位置づけ、2021年と2023年の二度にわたりとりくんできました。いずれも三千筆を超える署名が集まり、彦根市議会に提出した「請願書」も全会一致で採択されています（2回）。しかしながら、保護者への利用料金助成は実現したものの、スクール運営に係る助成は実現には至っておらず、行政からは1円の支援もなく、運営は常に厳しい状況にあります。

私たちは、単に署名を集めるだけではなく、フリースクールのことを、いのちに関わる不登校問題のことを、もっともっと知ってほしい、できれば一緒に考えてほしい！署名にはそんな願いも託しました。

どうか私たち市民の願いが届き、子らのいのちが輝き続けますように！

## 要請項目

### 1. フリースクールの運営に係る公的支援をお願いします。

氏名	住所

署名集約先：NPO法人 フリースクールてだのふあ  
〒522-0081 彦根市京町一丁目7-33（代表：山下吉和）  
TEL 090-9099-4822